

学部連携演習

必修 開講年次：3年次後期 科目区分：演習 単位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：看護学部およびデザイン学部学生を対象に、基本的な専門教育の理解の上に、両学部相互の専門性に触れさせ、学生自身の専門性を広げるとともに、異分野の人材と連携する能力を養うことを目的に両学部合同による演習を行う。両学部の学生を少人数グループに編成し、看護、デザイン相互にかかわりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見いだし、相互の学生が共同・協力して課題解決に取り組む。

■**到達目標**：①看護およびデザインの自己の専門性について理解を深める。
②相互の専門性を尊重し合い、協同して課題に取り組む姿勢を身につける。
③課題の発見・解決プロセス（課題解決プロセス）を習得する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者◇COC特任教員】

◎石井 雅博・齋藤 利明・矢部 和夫・斉藤 雅也・山田 良・石田 勝也・小宮 加容子・須之内 元洋・福田 大年・三谷 篤史
◎河原田 まり子・スーディ神崎 和代・上村 浩太・清水 光子・菅原 美樹・工藤 京子・原井 美佳・藤井 瑞穂・矢野 祐美子・田仲 里江・檜山 明子
◇藪谷 祐介

■**授業計画・内容**：

第1回 オリエンテーション	第25回 プレゼンテーション準備・ポスター作成
第2回 チーム別活動（顔合わせ・役割の決定）	第26回 プレゼンテーション準備・ポスター作成
第3回 チーム別活動（テーマのディスカッション）	第27回 プレゼンテーション準備・ポスター作成
第4回～第24回	第28回 発表準備
担当教員指導のもと、テーマにもとづいた	第29回 全体発表
チーム別活動を行います。この活動には視察・	第30回 全体発表
調査等、学外でのフィールドワークが含まれます。	個人活動評価票の提出（第2回目）
また、第18回の演習終了時に個人活動評価票を提出（第1回目）させ、中間評価を行いません。	

■**教科書**：授業の進行により随時紹介する。また、適宜参考資料を提供する。

■**参考文献**：授業の進行により随時紹介する。また、適宜参考資料を提供する。

■**成績評価基準と方法**：成績評価は本演習の到達目標に対し、以下の観点から行ないます。

- ①：専門性の理解
- ②：協調性・積極性・交渉力・コミュニケーション力・課題に取り組む態度
- ③：提案力・企画力・実践力・課題解決過程の理解・成果産出の意義

出席日数 10% 授業への参加態度と積極性 60% 各担当教員が成績評価を行う。
成果物30% 全体発表（ポスター発表を含む）は演習担当教員全員が成績評価を行う。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	◎	○	積極性・協調性	60
発表	◎	◎	◎	明快な説明	
課題・作品		◎	◎	明快で説得力があるか	30
出席	○	○	○		欠格条件 10

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：スタートアップ演習、各学部の専門教育科目等

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：スタートアップ演習でデザインと看護の連携プロジェクトに取り組んでから2年が経過しました。その後、専門教育を受けて研鑽を積み、今回はそれぞれが専門性を高めた上での連携となります。学部連携演習では、両学部の専門性を相互に活かし相乗効果が発揮できるよう学生諸君の積極的な取組みを期待します。また、主体的活動を行う際にも教員の指導のもと、報告・連絡・相談を欠かさないようにして下さい。